

開催日時	平成26年11月6日(木) 午後6時30分～8時	開催場所	関本多目的研修集会所
質 問		回 答	
<p>《関本上区長》</p>			
<p>1 旧関本炭鉱内の民地が市道となっていた件について、引き続き市道として使用するため、境界立会いを実施しています。その後の手続き等の進捗状況、経過をお知らせください。</p>	<p>1 旧関本炭鉱内の民地市道について、境界立会いを実施し、市道部の面積が確定しました。現在、土地所有者と市道部の所有権移転等に向け交渉を進めているところです。今年度中に処理(解決)する予定です。(建設課)</p>		
<p>2 関本町は農地が多い地区ですが、他地区同様に耕作放棄地の増加が見られます。現在の主な農業従事者の平均年齢は恐らく60歳代後半であり、今後10年程度で農業従事者が急激に減少し、一層耕作放棄地が増加することが予想されます。難しい問題だとは思いますが、これに対する市の考えや農業従事者側に期待される取り組みなどがあれば、お知らせください。</p>	<p>2 当市の農業従事者においても平均年齢は69.2歳であり、高齢化の一途をたどっています。また、後継者の不足なども加わり、今後の不作地や耕作放棄地の増大を懸念しているところです。市では、これらの発生原因や荒廃状況などの実態を把握し、今後その引き受け手をどうするか、また、作物は何ができるか、その土地の条件はどうかなどの調査を行いながら、耕作放棄地の増加を防いでいくことが重要であると考えています。また、市では、独自にWCSと飼料用米への補助を行っています。今後も、県と連携しながら、青年就農者・Uターン・定年帰農者など多様な担い手を確保・育成するため、就農相談から営農定着までの受け入れ態勢を支援し、また、農地の集積協力者へ交付金が支払われる(農地中間管理機構事業)を通じ、担い手を中心とした農地集積を推進し、農地の利用を維持しながら耕作放棄地増加の抑制を図っていきます。(農林水産課)</p>		

開催日時	平成26年11月6日(木) 午後6時30分～8時	開催場所	関本多目的研修集会所
質 問		回 答	
<p>3 関本町小中一貫校についてお聞きしたい。</p> <p>①小中一貫校における教育方針や教育課程などの具体的な内容についてどのように考えているのか。</p> <p>②一貫校だけ特別なことはできないとの話も聞くが、例えば何か特色のある教育課程を設けることで他学区からの転入生を増やすようなことは考えられるのか。</p>	<p>3</p> <p>①「関本町小中一貫校設置協議会」で、学校側から「関本小中学校経営基本構想(案)」が提示され、理念・校訓・目指す子ども像・学校教育目標などの案が示されました。これから来年2月にかけて、学習・豊かな心・健康に関する3つの部会を開催に分かれて関本地区の小中学校の先生方が話し合い、構想案をまとめていきます。(教育総務課)</p> <p>②教育課程は基本的には学習指導要領で示されたもので編成し、今後「小中一貫型小・中学校(仮称)」の内容を取り入れながら進めていきます。教育委員会としては、次のような教育活動として取り入れていきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間を通し、人間関係が深まるような授業交流や学校行事などの交流活動</li> <li>・9年間の一貫した指導計画</li> <li>・ALTを活用した英語教育の充実</li> </ul> <p>9年間の継続した教育活動という特色を生かしながら、教育活動を推進してその良さを示していきたいと考えています。</p> <p>他からの転入生を増やすことにつきましては、今後の推計では、児童生徒数に大きな変化は見られませんが、国道6号バイパスや北部幹線道路の延伸、北町関本中線など、都市基盤の整備を進めることで、地域に住む人を増やしていければと考えています。(教育総務課)</p>		
<p>《関本上、富士ヶ丘区長》</p>			
<p>1 小中一貫校の開校後の富士ヶ丘小学校・関本第一小学校の施設・敷地をどのように活用するのか</p>	<p>1 富士ヶ丘小学校は、県の事業で、宿泊できる施設を整備し、天心記念五浦美術館と提携して、学生が芸術を学ぶ施設を作りたいと考えています。</p> <p>また、関本第一小学校は、生涯学習センターにしようと考えています。体操をしたり、絵を描いたり、たくさんの人たちがくつろげる施設にしていこうと思います。(市長)</p>		